

令和6年度 若年技能者人材育成支援等事業進捗状況

令和6年10月末現在

1 地域における技能振興事業

(1) 技能五輪全国大会の予選の実施

技能五輪全国大会の県代表を選出するための予選会を実施する。

項目	実施計画	進捗状況
① 実施職種	3職種 (電工、レストランサービス、造園)	2職種 (電工、レストランサービス)
② 参加者数	10人	2人 (電工、レストランサービス)

※補足説明

- ◎今年度の技能五輪全国大会へは5職種10名が出場した。この内の電工・レストランサービス職種について予選会を実施した。
この2職種以外は技能検定試験が予選を兼ねることとなっている。

(2) 全国技能競技大会派遣支援

若年者ものづくり競技大会、技能五輪全国大会の参加選手及び指導者の旅費、工具等の運搬費について援助を行う。

項目	実施計画	進捗状況
● 第19回若年者ものづくり競技大会 主催：厚生労働省／中央職業能力開発協会		
① 派遣人数	2人	2人 (電気工事1人、建築大工1人)
② 開催期日	令和6年7月30日～8月2日	令和6年7月30日～8月2日
③ 開催場所	群馬県	群馬県 (Gメッセ群馬ほか)
④ 入賞状況	電気工事 (敢闘賞)	
● 第62回技能五輪全国大会 主催：厚生労働省／中央職業能力開発協会		
① 派遣人数	10人	10人 (配管2、電工1、フラワー装飾3、洋裁3、レストランサービス1)
② 開催期日	令和6年11月21日～25日	令和6年11月21日～25日
③ 開催場所	愛知県	愛知県 (愛知県国際展示場ほか)
④ 入賞状況	配管 (銀賞)、レストランサービス (敢闘賞)	

※補足説明

- ◎「若年者ものづくり競技大会」は職業能力開発施設、工業高校等において技能を習得中の若年者（原則20歳以下の未就業者）を対象に毎年開催される。令和5年度は4名、今年度は2名の出場であった。
- ◎「技能五輪全国大会」は青年技能者（原則23歳以下）の技能レベルの日本一を競う大会で、本県からも入賞者を毎年輩出している。本県からの出場者は令和元年度が17名でこの事業が始まった平成25年度以降最も多かった。令和5年度は12名、今年度は10名となっており、九州沖縄の中では福岡県（25名）、沖縄県（20名）の次に多い出場者数となっている。
- ◎これらの技能競技大会については県民に広く知っていただく必要がある。技能検定の受検案内や協会機関誌、HP等の掲載による業界団体へのPRを実施しているが、県とも協力して一般県民等へのPRに今後もより一層取り組んでいく。

- (3)「卓越した技能者(現代の名工)」被表彰者紹介コンテンツの作成支援
中央技能振興センターが実施する被表彰者の技能を紹介するためのコンテンツ作成を支援するため、被表彰者の取材を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
被表彰者の取材を実施	令和6年度表彰受賞者について、推薦者の県を經由し、取材及び紹介コンテンツの作成支援を行う。	今年度該当者なし。

※補足説明

- ◎各県コーナーが取材を行い、中央職業能力開発協会HP「技のとびら」に掲載される。当コーナーでは、令和元年度に受賞された綾町の熊須氏（碁盤・将棋盤製造工）、令和4年度に受賞されたえびの市の川野氏（木工、木彫工）、令和5年度に受賞された都城市の笠山氏（板金）の取材を行い、「技のとびら」に掲載されている。

- (4)「地域発!いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業の休止に伴う対応
認定を受けた事業者から認定内容の変更・廃止等の相談を受けた際は、中央技能振興センターに問い合わせるよう伝える等の対応を行う。

・令和6年度は新規認定を行わない。

- ①「地域発!いいもの」応援事業
地域で行われている「技能振興」、「技能者育成」等の取組を「地域発!いいもの」として選定し周知することでこれらの取組みを応援する。

※補足説明

- ◎中央職業能力開発協会が募集・審査・選定を行い、各県コーナーで周知・広報・受付等を行う。当コーナーにおいては応募はないが、令和3年度までに24都道府県で50件が選定された。

- ②グッドスキルマーク事業
一級技能士等が技能を駆使した製品等に「グッドスキルマーク」の表示を

認めることにより、「グッドスキルマーク」を通じて技能検定制度や技能を活かした製品等の普及・推進を図る。

※補足説明

◎中央職業能力開発協会が募集・審査・認定を行い、各県コーナーで周知・広報・受付等を行う。令和3年度までに全国で357製品が認定された。県内からは畳製作が2件、印章彫刻が1件認定されている。

2 ものづくりマイスターの認定等事業

(1) ものづくりマイスターの認定事業

宮崎県内の熟練技能者等を「ものづくりマイスター・ものづくりマイスター(+DX)・ものづくりマイスター(IT部門)」として認定するため広報、募集、相談等を行う。

実施項目	目標値	進捗状況
ものづくりマイスター・ものづくりマイスター(+DX)・ものづくりマイスター(IT部門)の認定者数	6人	4人 ※加えて12月に4人認定申請

※補足説明

◎訓練コーディネーターが機会ある毎にマイスターの掘り起こしを行っている。過去3年間、ものづくりマイスターの活動実績がない方のうち、今後、活動の意思のない人については認定解除を行う。

マイスターの活躍の場を増やすためにも、企業の紹介等委員の皆さまにもご協力をお願いしたい。

必要があれば当協会職員が訪問して事業内容の説明を行う。

(2) ものづくりマイスターへの指導技法講習

新たに認定されたものづくりマイスターが指導を効率的、効果的に実施するための講習会を行う。

また、過去3年間一度も活動実績のないものづくりマイスターについても講習を行う。ただし、今後活動の意思がないことが確認された者は除く。

実施項目	実施計画	進捗状況
指導技法講習の実施	9月・2月(計2回)	9月:2人 2月:未定 (今後の活動意思確認者)

※補足説明

◎マイスターが実技指導を行うに当たっての質の向上につながる重要な講習である。

3 ものづくりマイスターの活用事業

事業目標（国が示した目標数）	進捗状況
・参加者満足度	90%以上 → アンケートでは全員が成果あり、満足と回答
・マイスター活動数（延べ受講者数）	2,800人日以上 → 3,874人日(138%)

(1) 中小企業、業界団体、工業高校等学校への講師派遣

ものづくりマイスターを中小企業、業界団体、工業高校等へ派遣し、技能競技大会の競技課題又は技能検定課題を基にした実技指導を行い、技能向上を図る。

実施項目	実施計画	進捗状況
1 派遣日数（受講者数）		
(1) 企業・業界団体	64日（ 256人）	43日（ 100人）
(2) 工業高校等	64日（ 640人）	65日（ 452人）

※補足説明

◎アンケートによると、丁寧な指導で受講者の満足度は高い。

宮崎県技能検定実技試験受検手数料助成制度により、昨年度後期試験分から若年者の技能検定実技試験受検手数料の負担が軽減されている。

(2) 公民館・集会所等の公共施設又はショッピングモール等民間施設のイベントエリア等への講師派遣

① 公民館・集会所等の公共施設への派遣

公民館・集会所等の公共施設を使って、小中学生や地域住民参加型の合同ものづくり体験を実施する。

実施項目	実施計画	進捗状況
1 派遣件数・受講者数		
(1) 派遣件数	5件	4件
(2) 受講者数	200人	159人

※補足説明

◎アンケートによると、丁寧な指導で参加者の満足度は高い。今後も、機会あるごとに地域のイベントの主催団体等に「合同ものづくり体験」の概要を説明し、事業への参加を促していく。

- ② ショッピングモール等民間施設のイベントエリア等への派遣
ものづくりマイスターや熟練技能者による実演やものづくり体験等を通して、技能の大切さや重要性を一般県民等に伝えるためのイベントを開催する。

実施項目	実施計画	実施結果
①第4 2回技能まつり		
① 実施時期	令和6年度10月	令和6年10月5日～6日
② 実施会場	イオンモール宮崎	イオンモール宮崎
③ 内容	実演、ものづくり体験等	実演、ものづくり体験等
④ 実施職種	20職種	25職種
⑤ ものづくり体験者数	800人	2,514人（内、若年事業対象者1,737人）

※補足説明

◎令和6年度は、イベント開催について人数等の制限がなくなったため、令和2年度以前と同様に感染症予防に留意して実施した。

(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信

- ① 地域若者サポートステーション事業の支援対象者に対する「ものづくりの魅力」発信

地域若者サポートステーション及び若者の雇用型訓練を実施している事業所等からものづくりマイスターの派遣要請等があった場合に支援を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
1 派遣件数・受講者数		
(1) 派遣件数	1件	0件
(2) 受講者数	4人	0人

現在のところ、事業所等からの派遣要請等はない。

- ② 小中学校等の児童・生徒に対する「ものづくりの魅力」発信

県内の小中学校等の児童・生徒、教師及び保護者を対象に、「ものづくりの魅力」発信事業として、講話・ものづくり体験を行っている。

実施項目	実施計画	進捗状況
ものづくり体験教室		
(1) 学校数	30校	27校
(2) 受講者数	1,080人	1,424人

(4) 熟練技能者等による派遣指導及び「ものづくりの魅力」発信事業の実施

ものづくりマイスターの対象外職種（建設系、製造系以外）など「ものづくりマイスター派遣事業」に該当しない職種に対して、熟練技能者等を派遣し、指導を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
1 派遣件数・受講者数 (1) 派遣件数 (2) 受講者数	2件 50人	0件 0人

4 連携会議

宮崎県、宮崎労働局、経済団体、業界団体等による連携会議を設置し、ものづくりマイスターの派遣や技能振興の取組、事業実施に当たっての連携・協力の在り方の方針決定、年末に当年度の事業実施状況等の報告を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
1 開催時期	第1回 令和6年 5月～ 6月 第2回 令和6年11月～12月	第1回 令和6年 5月23日実施 第2回 令和6年12月11日実施
2 構成メンバー	宮崎労働局、宮崎県商工観光労働部、宮崎県教育委員会、宮崎県高等学校教育研究会工業部会、宮崎県中小企業団体中央会、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構宮崎支部、宮崎県工業会、宮崎県技能士会連合会	宮崎労働局、宮崎県商工観光労働部、宮崎県教育委員会、宮崎県高等学校教育研究会工業部会、宮崎県中小企業団体中央会、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構宮崎支部、宮崎県工業会、宮崎県技能士会連合会

5 今年度進捗状況まとめ、今後の課題

本事業は厚生労働省からの委託事業であり、令和6年度については、本事業に係る国の予算が引き上げられた（約9.1%増）ことにより、本県の受託額も増加している。

予算増に伴い、本事業に係る国の委託仕様書も見直しが行われた。

〔仕様書の主な見直し内容〕

- (1) 「ものづくりマイスターの派遣による指導の実施」において、技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会出場選手への派遣指導が可能となった。
また、認定職業訓練への派遣指導が可能となった。
- (2) 「若者に対する「ものづくりの魅力」発信」において、小・中学校等でのものづくり体験教室の一人の対象者に対する体験の材料費の引き上げ。
令和5年度 税抜1,000円 → 令和6年度 税抜1,500円
- (3) 目標値（ものづくりマイスターの活動数）の引き上げ
令和5年度 2,500人日以上 → 令和6年度 2,800人日以上

本年度については、従来のものでづくり体験教室や技能講習に加え、新たに技能五輪全国大会等への派遣指導を実施したことや技能まつり体験者の大幅増加等、技能振興に大きく貢献できたと考える。今後もこれまで以上の成果が得られるよう工夫しながら取り組んでいく。

このような「ものづくりマイスター」の取り組みについては、派遣先の受講者からも高い評価を得ている。この評価の背景には、これまで地道で確実な事業運営を重ねてきた成果があると考えられる。

今後も引き続き、実施内容や実施時期等について、派遣先等と調整を図りながら、当初計画を達成できるよう進めていきたい。

